

平成31年度(令和元年度)「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	東淀川
学 校 名	大阪市立豊里小学校
学校長名	中島 英康

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成31年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、児童の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・豊里小学校では、第6学年 101名

平成31年度(令和元年度)「全国学力・学習状況調査」結果の概要

- ・国語科について平均正答率は、全国に比べ8.8ポイント、大阪市に比べ3ポイント下回っている。
- ・算数科について平均正答率は、全国に比べ3.6ポイント、大阪市に比べ2ポイント下回っている。
- ・平均無回答率は、昨年度より減少しているが、国語科で全国と1.5ポイント、大阪市と1.4ポイントの差がある。算数科では、全国、大阪市とほぼ同傾向にある。
- ・標準化得点（全国平均が100、標準偏差が10となるよう標準化された得点）は国語科96点、算数科98点となっており、昨年度までの「知識」と「活用」が一体化した今年度の結果と単純比較できないが、平成28年度からの推移と100を下回るという意味ではほぼ同傾向にある。昨年度よりは、少し向上している。

分析から見てきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

- ・領域等の平均正答率を全国と比較すると、「読むこと」は4.8ポイント、「話すこと・聞くこと」「書くこと」は9.9ポイント下回っている。
- ・読書タイムの設定、読み聞かせボランティア「絵本ばたけ」による読み聞かせ、図書室の整備、音読指導等積み重ねてきた結果、読むことの力についてはついてきている。しかし、授業中でも感じるところだが、話の内容をよく聞き取れていない、自分の考えを書きあらわして人に伝えるというところが、課題になっている。

〔算数〕

- ・領域等の平均正答率を全国と比較すると、「図形」は0.5ポイント上回っており、「数と計算」が4.9ポイント、「量と測定」が4.4ポイント下回っている。
- ・図形についての理解は比較的できている。基礎的な計算力の習熟、減法や除法などの計算の意味理解が課題である。

質問紙調査より

- ・「就寝、起床時刻が毎日、同じくらいであるか。」という問いに対して肯定回答している割合が、全国に比べ低い。特に就寝時刻が14.4ポイント差がある。
- ・全国と比較し、肯定回答率が低い項目は「5 自分にはよいところがあると思いますか」「17 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」「29 話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりできていますか。」である。特に「計画を立てて勉強」については、全国と21ポイントの差がある。
- ・肯定回答が全国とほぼ同等の項目は、「6 先生がよいところを認めている。」「8 将来の夢や目標をもっている。」「9 最後までやり遂げてうれしい。」「13 学校のきまりを守る。」「15 いじめはいけない。」である。

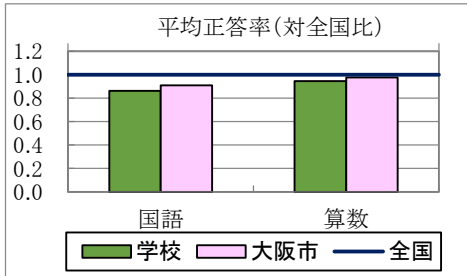
今後の取組(アクションプラン)

- ・ここ数年、同傾向にあるので、教職員が一つになり以下の指導を継続、徹底する。
- ①漢字、計算、語彙力等の向上を図るプリント学習を週1～2回、始業前の15分間実施する。
- ②水・金の始業前に読書タイムを設け読書の習慣をつける。また、「絵本ばたけ」による読み聞かせを行う。
- ③習熟度別少人数授業、ICT機器の活用により、個別の支援の充実に努める。
- ④これまでの効果的な取り組みをデータベース化した「豊里ノウハウバンク」を活用し、学ぶ意欲を高める授業づくりを行う。それにより、「やればできる」を実感できるようにする。
- ⑤授業中に友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができるようにする。
- ⑥家庭学習の促進を図るため、保護者へ啓発する。
- ⑦放課後学習、「ステップアップ」、「長期休業中の自主学習時間サマーチャレンジ」を活用し、一人一人の課題に応じた学びの場の充実を図る。

【 全体の概要 】

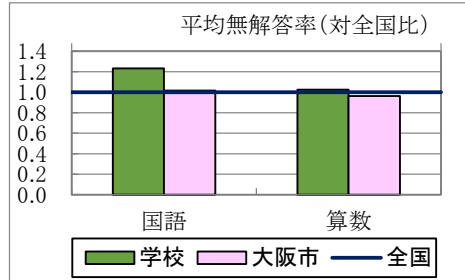
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	55	63
大阪市	58	65
全国	63.8	66.6



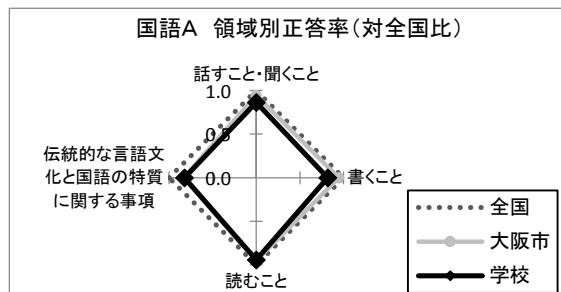
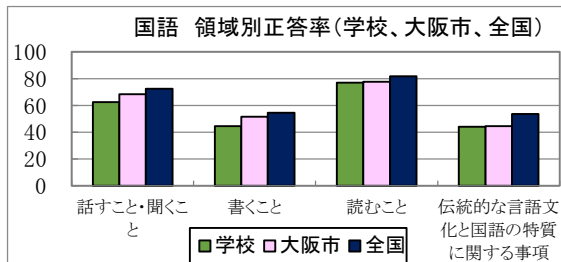
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	7.7	2.8
大阪市	6.3	2.6
全国	6.2	2.7



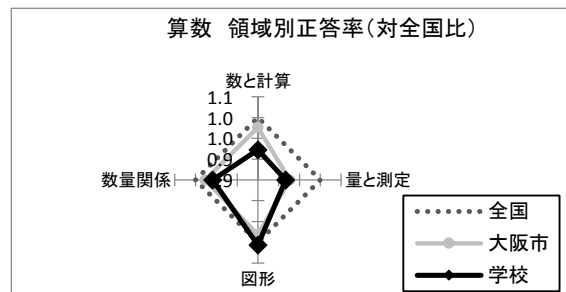
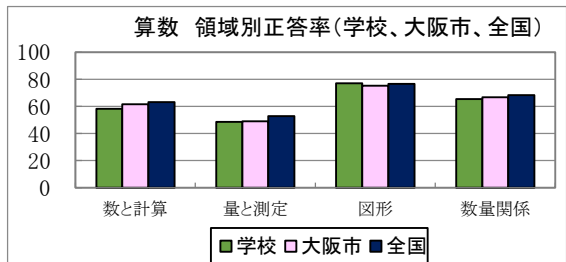
【 国 語 】

		対象設問 数(問)	平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指 導要領 の 領域等	話すこと・聞くこと	3	62.4	68.3	72.3
	書くこと	3	44.6	51.5	54.5
	読むこと	3	76.9	77.7	81.7
	伝統的な言語 文化と国語の特 質に関する事項	5	44.0	44.6	53.5



【 算 数 】

		対象設問 数(問)	平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指 導要領 の 領域等	数と計算	7	58.3	61.7	63.2
	量と測定	3	48.5	49.0	52.9
	図形	2	77.2	75.3	76.7
	数量関係	7	65.5	66.7	68.3



児童質問紙より

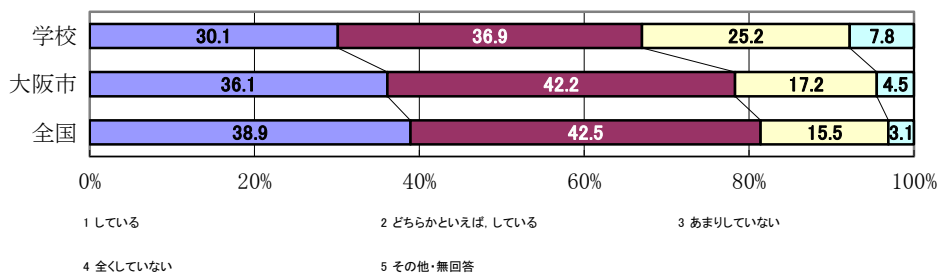
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

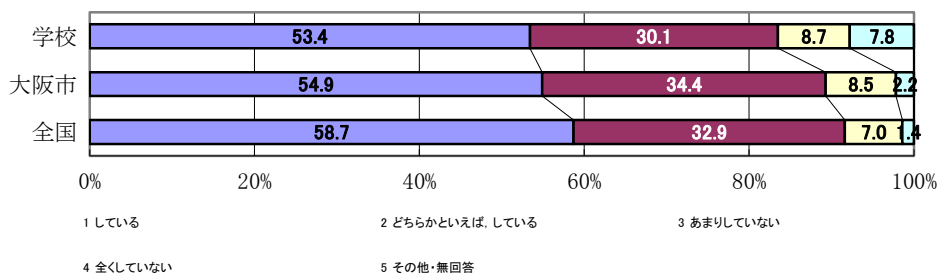
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



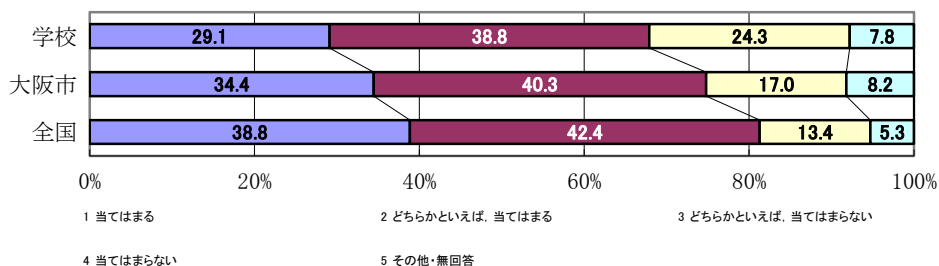
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



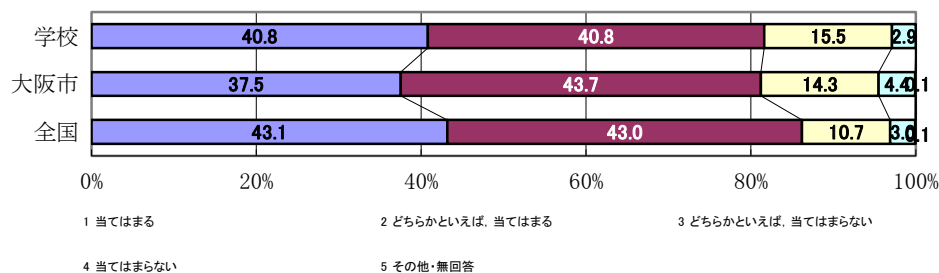
5

自分には、よいところがあると思いますか



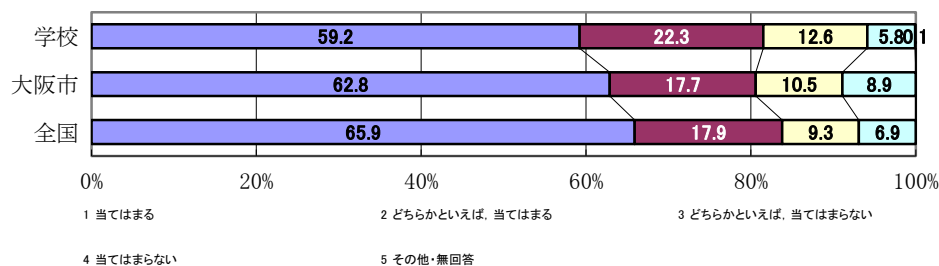
6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



8

将来の夢や目標を持っていますか



児童質問紙より

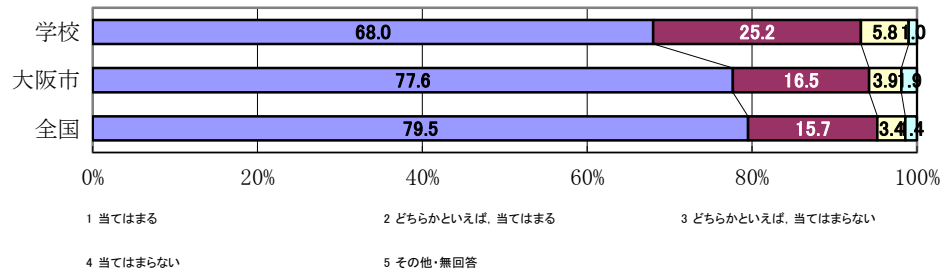
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

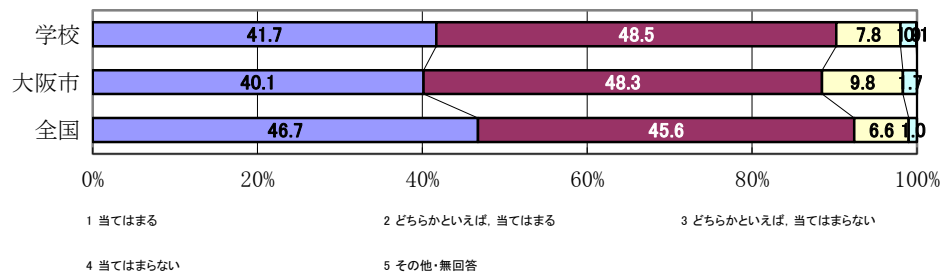
9

ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか



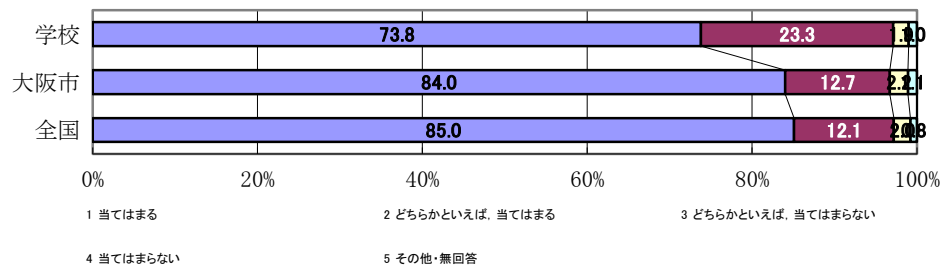
13

学校のきまりを守っていますか



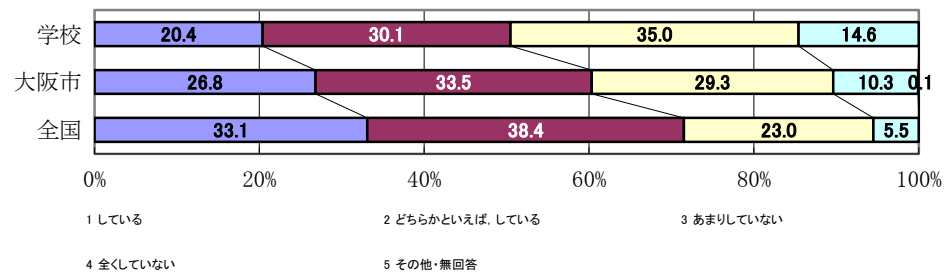
15

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



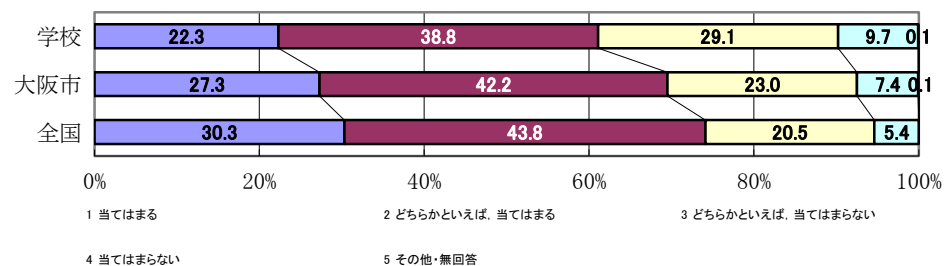
17

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか



29

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか



学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8

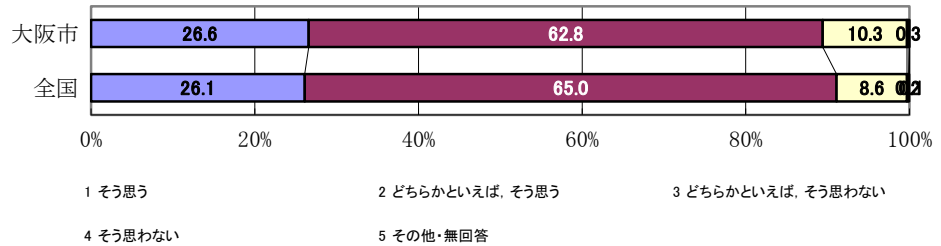
質問番号

質問事項

8

調査対象学年の児童は、
熱意をもって勉強している
と思いますか

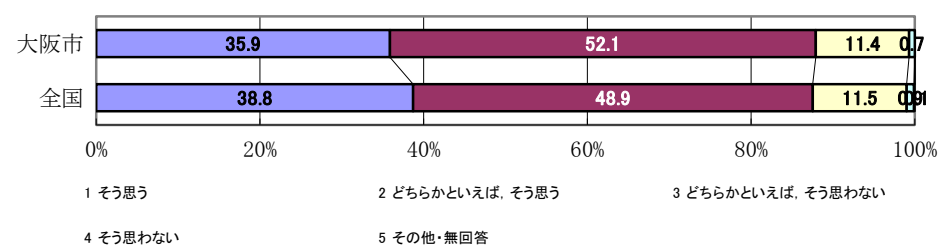
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



9

調査対象学年の児童は、
授業中の私語が少なく、落
ち着いていると思いますか

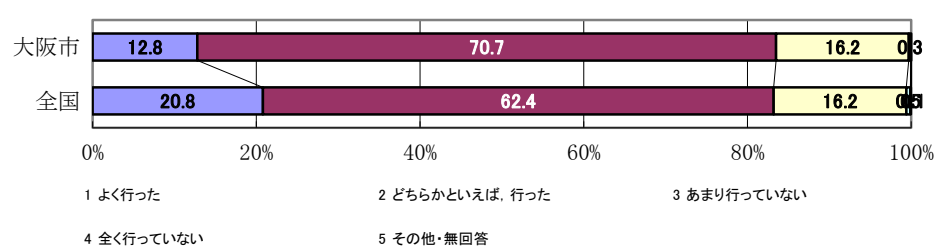
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



11

調査対象学年の児童に対
して、前年度までに、将来
就きたい仕事や夢について
考えさせる指導をしました
か

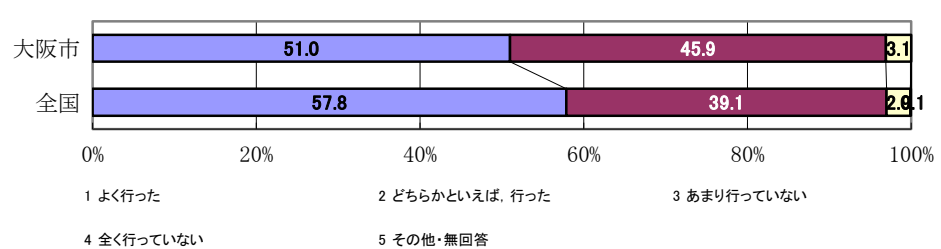
学校 「あまり行っていない」を選択



13

調査対象学年の児童に対
して、前年度までに、学習規律
(私語をしない、話をしている
人の方を向いて聞く、聞き手に
向かって話をする、授業開始
のチャイムを守るなど)の維持
を徹底しましたか

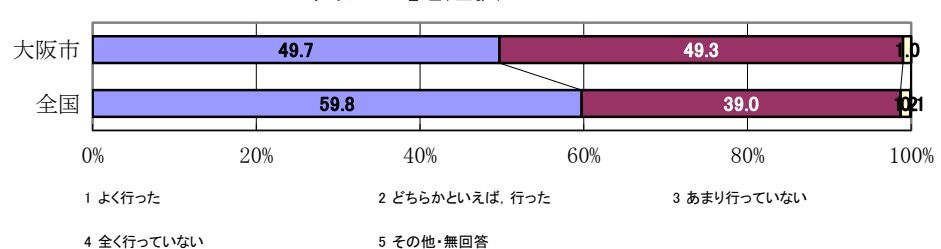
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



14

調査対象学年の児童に対
して、前年度までに、学校
生活の中で、児童一人一
人のよい点や可能性を見
付け評価する(褒めるなど)
取組をどの程度行いました
か

学校 「どちらかといえば、行った」を選択



学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8

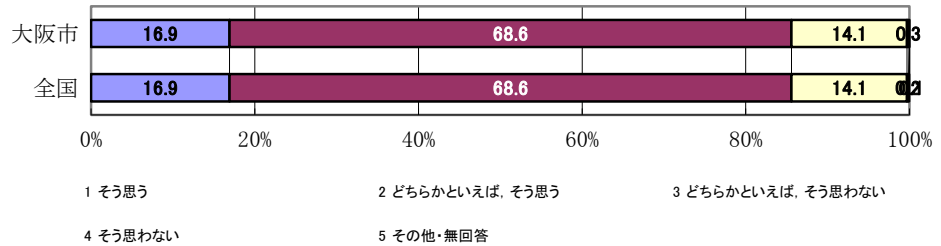
質問番号

質問事項

32

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていますか

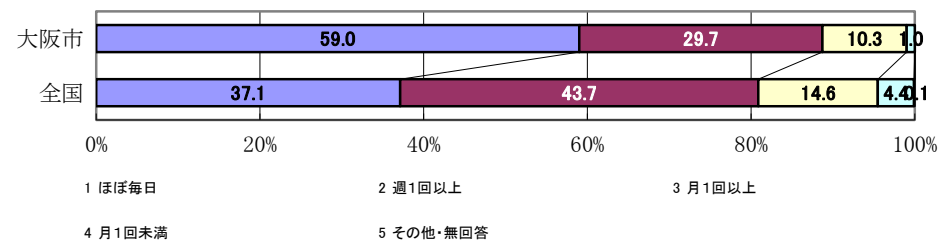
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



49

調査対象学年の児童に対する指導において、前年度に、教員が大型提示装置（プロジェクター、電子黒板など）などのICTを活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

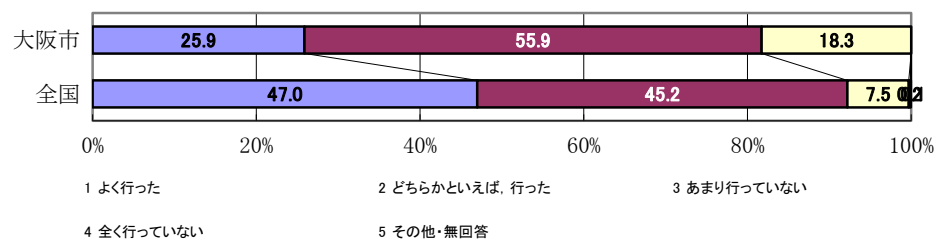
学校 「ほぼ毎日」を選択



59

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか（教科共通）

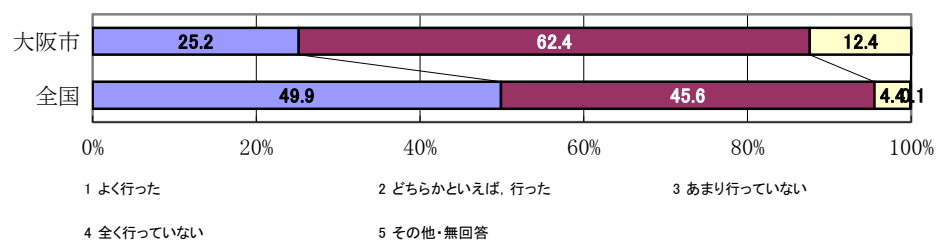
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



60

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしましたか（教科共通）

学校 「どちらかといえば、行った」を選択



61

調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか

学校 「よく行った」を選択

